

2026年度 慶應義塾大学 社会学研究科入学試験

修士課程（秋期）英語

出題の意図

社会学専攻・問題 I

(1)

修士課程で研究を進めていくために必要な水準の英語の読解能力を問う問題である。英語の文章を制限時間内に理解し、その日本語訳を適切に記述する能力が問われている。

(2)

修士課程で研究を進めていくために必要な水準の英語の読解能力を問う問題である。比較的長文の英語の文章を制限時間内に理解し、その日本語での要約を行うことができる知識と能力が求められている。

社会学専攻・問題 II

(1)

修士課程で必要とされる水準の英語の読解能力を問う問題である。学術的な英語の文章を精緻に理解し、その日本語訳を、適切な語彙をもって記述する知識と文章力が求められる。

(2)

修士課程で必要とされる水準の英語の読解能力を問う問題である。学術的な英語の文章の主要な論点を把握し、その日本語での要約を、論理的に記述する知識と文章力が求められる。

心理学専攻

(1)

修士課程で心理学研究を進めていくために必要な英語の理解能力を問う問題である。

(2)

修士課程で心理学研究を進めていくために必要な心理学、認知科学に関する英語の学術文書を論理的に理解し、それを正確に日本語にて表現する知識と文章力が問われている。

(3)

修士課程で心理学研究を進めていくために必要な英語の読解能力をふまえた上で論点を理解し、それを自身の思考へつなげ日本語にて表現する文章力が問われている。

## 教育学専攻

(1)

教育学分野の英語で書かれた学術論文を読解するために必要な語彙力、構文を正確に捉える力、文章全体の趣旨から適切な訳語を選択する力を問う問題である。

(2)

教育学分野の英語で書かれた学術論文を読み解くための、基礎的な英語力を問う問題である。また同時に、著者の主張を正確に理解したうえで論点を整理し、適切な日本語訳とともにまとめる際に必要となる、教育学の基礎知識および日本語力をはかる問題でもある。

以上